

13. 長良大橋

土木学会選奨「土木遺産」



【撮影日時】平成25年1月15日

【撮影場所】岐阜市茶屋新田

長良大橋は、岐阜市と大垣市墨俣地区を結んでいます。

昭和8年の竣工当初の計画は、道路・鉄道併用橋でした。上流部（南）側約7mを鉄道用、下流部（北）側約8mを道路用として建設されており、橋梁底部の構造が南北で異なっています。昭和39年には完全舗装化され、道路専用道路となりました。

この付近には、墨俣の渡船場がありましたが、車の往来が発達するにつれ、渡船場は姿を消しました。長良大橋は、舟から車への歴史の転換期に建設された橋で、土木学会選奨「土木遺産」として登録されています。